

滝沢市郷土芸能まつり

2018年1月28日

イセフン(韓国)

自分が留学している岩手県は神楽や踊り、剣舞などの郷土芸能が多く残されており、県のあちこちで郷土芸能に関する祭りや講演会が数多く開かれます。韓国に比べ住民の郷土芸能への関心や誇りも多く、1100に達する芸能保存会があることでびっくりです。

2018年1月28日に滝沢市で催された滝沢市郷土芸能まつりに行ってきました。今回見た演目は「滝沢駒踊り」・「元村こどもさんさ」・「篠木神楽」・「大沢田植踊り」・「蒼前太鼓」・「民謡」・「川前神楽」・「滝沢市さんさ踊り」です。朝10時から午後3時までのギッシリした内容でした。

先ず、今回のまつりで初めて見たことが多いです。ピーピーと鳴き声をする権現様や駒踊り、田植踊りがそれです。



< 篠木神楽の獅子舞 >

自分がお世話になっている先生によると、権現様は土着神と仏さまが混じった神らしいです。それにこれは自分の意見に過ぎませんが、権現様の登場する演目が「獅子舞」と名付けられていることをそこまで深く考える必要はないと思われます。

後、大事な権現様の音ですが、権現様の動きがいきなり激しくなりピーピーと音を出すことが印象的でした。推測ですが権現様が怒っているように見えました。



< 滝沢駒踊り >

次は駒踊りについてです。ここ岩手県に来て以来、数は少ないですが何回か郷土芸能を見に行ったことがあります。それにチャグチャグ馬コは見たことがあるものの、駒踊りを見たのは今回が初めてです。特に駒の衣装と、写真には映っていませんが、鼻に白く何かを塗ったのが駒っぽくて印象的でした。



< 大沢田植踊り >

最後は田植踊りですが、説明によると田植踊りを見る機会がだんだん減っているらしいです。お寺や神社で保存する神楽とは違い、田植踊りは民間の保存会だけで続けられているのが理由らしいです。その意味では珍しいものを見たと思います。

大沢田植踊りで印象的だったのは「赤びった」が登場すること、演目の処所にナレーションのような説明が多かったことです。赤びったについてはあまり知りませんが、郷土芸能を含めた舞台で見たことは初めてです。お面ぴったりのイメージでした。

実はこの日にバス乗り場を間違っしまい朝から大変でしたが、滝沢市の景観もよく、郷土芸能に関して勉強になったことが多くて、充実した一日でした。